

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2009年9月11日 No 9 3
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町 4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp



「世界市長会議に参加」を明言

現在開かれている倉敷市議会で、伊東香織市長は「9月18日に、平和市長会議に参加し、世界の市長さんと一緒に平和について考え、倉敷市が平和に貢献したい」と発言しました。

これは大本芳子議員（共産党）の質問にこたえたもので、大本議員は「オバマ発言で世界は大きく変わりつつある。平和市長会議には134ヶ国、3037の都市が参加している。市長会議から加盟の要請がきているはず、議定書賛同要請もあるはずだが」という質問に答えたものです。

伊東市長は「平和市長会議は平和な世界の実現にむけ、世界の市長が連帯する無党派の組織、会長は広島市長、副会長が長崎市長、全国の政令指定都市の6つ、中核市も約半数が加盟している。オバマ大統領のプラハ宣言以降国際的な平和の機運が高まっている。昭和61年9月18日に平和都市宣言（非核都市宣言ではない—県原水協）をしているのでこの日に加入をする」と答えました。

伊東倉敷市長の発言を受け、県原水協、水島原水協は市長の姿勢を評価し、「核兵器のない世界を」の賛同署名を改めて要請していくことにしています。

核廃絶署名運動の強化を確認 県原水協理事会ひらく

岡山県原水協は9月10日、県民会館で09年度第1回理事会を開きました。理事会では09年国民平和大行進のまとめと、09年原水爆禁止世界大会のまとめを行ないました。また20万筆をめざしている「核兵器のない世界を」署名については現在4万筆まで到達しているもののさらに運動の強化をはかること、全組織・地域の学習運動、組織目標を掲げ自治体ぐるみの運動にどう広がっていくかが議論になりました。

岡山 倉敷で6・9行動

岡山

岡山県・市原水協は9月9日昼休み時間を利用して、09年世界大会後の最初の6・9行動を9月9日に行いました。

行動には県労会議、自治労連、医労連、高教組、民医連、新婦人、平和委員会から10人が参加。約45分間の行動でしたが28筆の署名が寄せられました。「オバマさんにはぜひ広島に来てほしいですね」と福山からきた男性は署名しながら話していました。

(右・岡山駅前の行動 下・水島原水協の行動参加者)



倉敷

水島原水協は9月9日、午後6時から JR 倉敷駅前前で署名行動を行いました。この行動には水島原水協に参加する倉敷医療生協、同労組、市職労水島支部から14名が参加。1時間の行動で55筆の署名が寄せられました。行動に参加した女性は「思ったより反応がよく気持ちよくできました」と話していました。水島原水協は NPT に2人送ろうと署名1000筆をめざしてがんばっています。

